

カラー液晶ファクシミリ複合機

形名 ユーエックス エム エフ UX-MF70CL/シー エル ユーエックス エム エフ UX-MF70CW
ユーエックス エム エフ UX-MF80CL/シー エル ユーエックス エム エフ UX-MF80CW

フォトサーバー機能 マニュアル

もくじ

- 1. フォトサーバー機能について 2
- 2. フォトサーバー機能を使う前に 5
- 3. DLNA認定フォトプレーヤーで
メモリーカードの写真を表示する 8
- 4. 写真をAQUOSで表示して印刷する 10
- 5. 受信ファクスや電子ファイルの内容を
DLNA認定フォトプレーヤーで見る 12

このマニュアルの機能を使う前に、本機のファームウェアをバージョンアップしてください。
バージョンアップの手順は、ファームウェア書き換え手順書をご覧ください。

1

フォトサーバー機能について

本機は、DLNA認定フォトサーバーとして使用できます※。

DLNA認定フォトプレーヤーに接続して、メモリーカード内の写真を表示することができます。

また、当社AQUOSの一部の機種と接続して、AQUOSに表示した写真を印刷することができます。

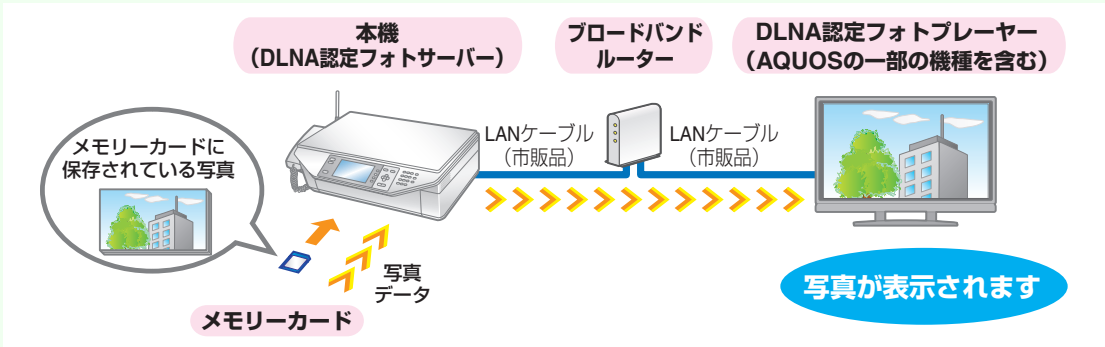
※ DLNA 認定機器とはDLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
DLNA とは、デジタル時代の相互接続性を実現させるために標準化活動を推進している団体です。

お知らせ

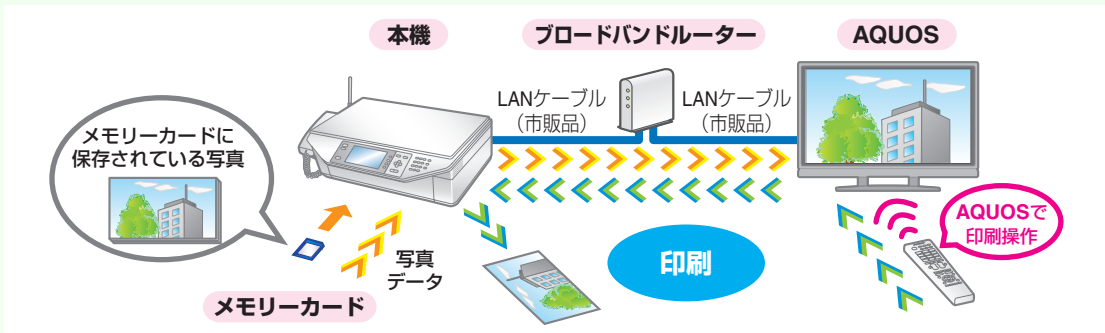
- DLNA[®]、DLNA ロゴおよびDLNA CERTIFIED[™]は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA[®], the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED[™] are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 相手機器やデータによっては、表示・印刷できないものもあります。
- お使いの AQUOS が本機と接続できるかは、AQUOS の取扱説明書などでご確認ください（AQUOS では「ホームネットワーク」などという名称を使っています）。

【使用例】

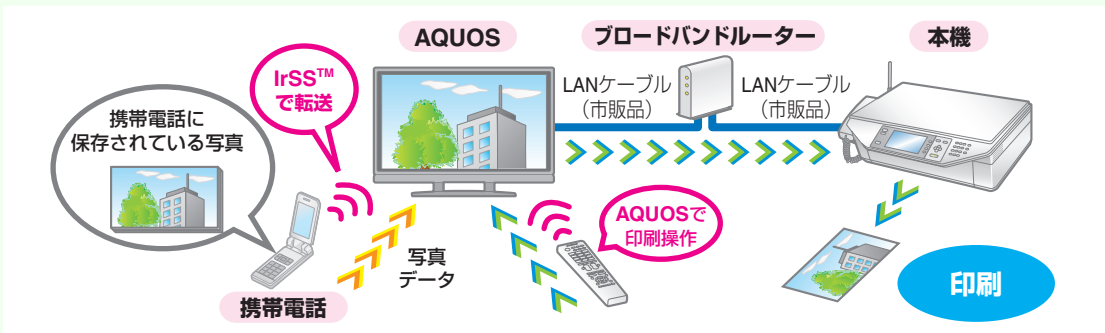
DLNA認定フォトプレーヤーでメモリーカードの写真を表示する



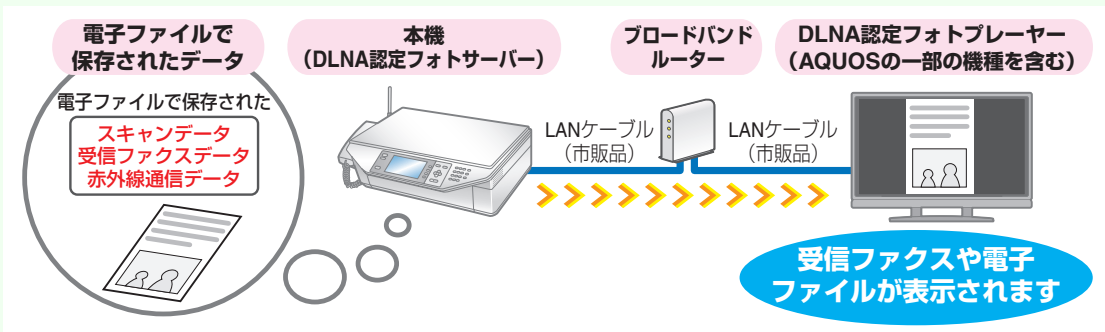
AQUOSでメモリーカードの写真を表示して印刷する



AQUOSで携帯電話の写真を表示して印刷する



受信ファクスや電子ファイルの内容をDLNA認定フォトプレーヤーで見る

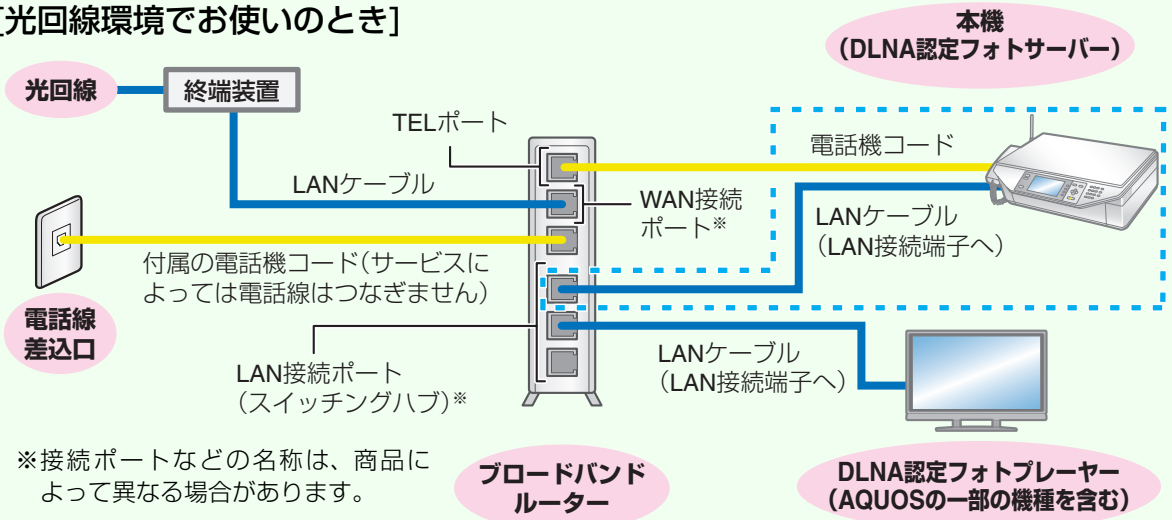


フォトサーバー機能について

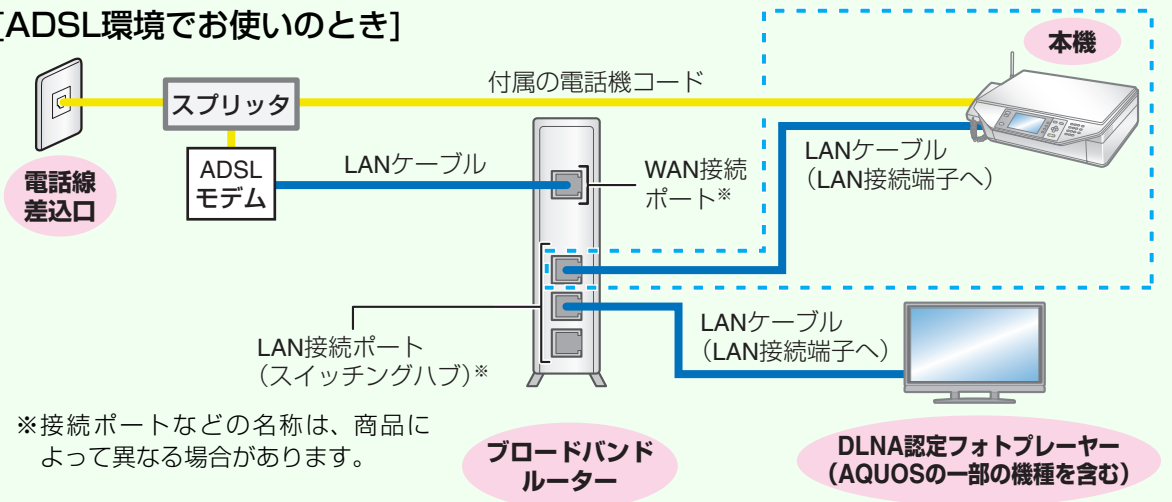
接続例

本機をLANケーブルでネットワーク環境に接続する場合の例です。接続にはブロードバンドルーターやスイッチングハブを使用します（例はブロードバンドルーター使用時のものです）。お使いの接続機器の取扱説明書もご覧ください。

[光回線環境でお使いのとき]



[ADSL環境でお使いのとき]



2

フォトサーバー機能を使う前に

フォトサーバー機能は、本機のファームウェアをバージョンアップすると使えるようになります。あらかじめファームウェア書き換え手順書に従って、ファームウェアをバージョンアップしておいてください。

フォトサーバー機能を使う前に、本機でサーバーの設定（下記①、②）をしてください。


①外部メモリアクセス設定をする

- 1 本機に外部メモリーを取り付けている場合は、取り外す
(☞取扱説明書142、143ページ)
- 2  (登録/機能) を押し、
 で「パソコン関連設定」を選ぶ
- 3  を押し、
 で「外部メモリアクセス設定」を選ぶ
- 4  を押し、
 で「ネットワーク接続PCのみ許可」を選ぶ
- 5  を押し
- 6  停止 を押し


②サーバーの設定をする

- 1  (登録/機能) を押し、
 で「パソコン関連設定」を選ぶ
- 2  を押し、
 で「ホームネットワーク機能」を選ぶ
- 3  を押し、
 で「サーバー機能」を選ぶ
- 4  を押し、
 で「サーバー機能」を選ぶ
- 5  を押し、
 で「使用する」を選ぶ
- 6  を押し
- 7  停止 を押し

■途中でやめるときは

 停止 を押します。

■1つ前に戻るときは

 (戻る) を押します。

■サーバー機能を使用しないときは

上記「②サーバーの設定をする」の手順5で「使用しない」を選びます。

お知らせ

- サーバー機能については、ファームウェア書き換え完了後の初期設定値が「使用しない」になっています。サーバー機能をご使用の場合は、上記②の手順に従ってサーバー機能を「使用する」に設定してください。

フォトサーバー機能を使う前に

お知らせ

- サーバー機能をご使用の場合、メモリーカードを挿入すると写真データや電子ファイルのデータを検索して画像リストを作成する動作（コンテンツ設定動作）が自動的に開始されますので、しばらくお待ちください。
コンテンツ設定動作にかかる時間は、メモリーカードに保存されている写真の枚数や電子ファイルのデータによって異なります。
- コンテンツ設定動作を途中で中止させたい場合は、停止ボタンを押してください（停止ボタンを押しても「コンテンツ機能準備中 外部メモリーを抜かないでください」という表示が消えない場合は、停止ボタンを数回押してください）。
コンテンツ設定動作を中止させると、DLNA認定フォトプレーヤーで写真が見られないことがありますので、メモリーカードを抜き差しして再度コンテンツ設定動作を実行させてください。
- IPアドレスをDHCPサーバーから取得する設定にしている場合でDHCPサーバーが見つからなかった場合、従来はIPアドレスとして192.168.1.201を自動的に設定しましたが、DLNA対応ファームウェアではお客様の環境ごとに異なるIPアドレスを設定します(169.254で始まるリンクローカルアドレスを設定します)。
- サーバー機能はフォトサーバー機能のみに対応しています。動画や音楽を送信することはできません。
- 本機の下記機能が動作している場合、写真のスライドショーやAQUOSからの印刷はできません。
フォトプリント、コピー、ファクス、スキャン、ケータイリンク、電話(内線通話を含む)、回線識別中、電話帳、再ダイヤル、着信記録、操作ガイド、登録メニュー、赤外線通信、留守設定、留守設定解除、留守録再生中、音量設定中、電子ファイル、プリンタメンテナンス中、
電源投入時の携帯とくとくダイヤル設定画面表示中、その他のポップアップ表示時
また、フォトサーバー機能で使用する内部の作業メモリーが不足すると、本機はフォトサーバー機能の停止、再起動およびコンテンツ設定を自動的にを行います。
この間は一時的にフォトサーバー機能が停止しますので、AQUOSでスライドショーなどを行う場合は、コンテンツ設定完了後に実行してください。
- サーバー機能やAQUOSからの印刷機能を利用される場合、デモ起動を「しない」に設定することをお勧めします（デモ機能動作中は通信速度が遅くなります）。
- 電話やFAX機能を使用されない場合も、回線種別選択画面で回線種別を手動で設定してください（回線識別中は写真のスライドショーやAQUOSからの印刷はできません）。
- その他の動作上の制限事項等については、サポートページ（<http://www.sharp.co.jp/support/mirakuru/>）の「よくあるご質問」をご覧ください。


フォトサーバー機能を使う前に

プリント機能は、ファームウェアを更新したとき「使用する」に設定されています。
設定を変更したときなど、もう一度「使用する」にするときは、次の手順で設定します。


AQUOSで写真を表示・印刷する前にプリント機能の設定をする

- 1  (登録/機能) を押し、
 で「パソコン関連設定」を選ぶ
- 2  を押し、
 で「ホームネットワーク機能」を選ぶ
- 3  を押し、
 で「プリント機能」を選ぶ
- 4  を押し、
 で「使用する」を選ぶ
- 5  を押す
- 6  を押す

■途中でやめるときは

 を押します。

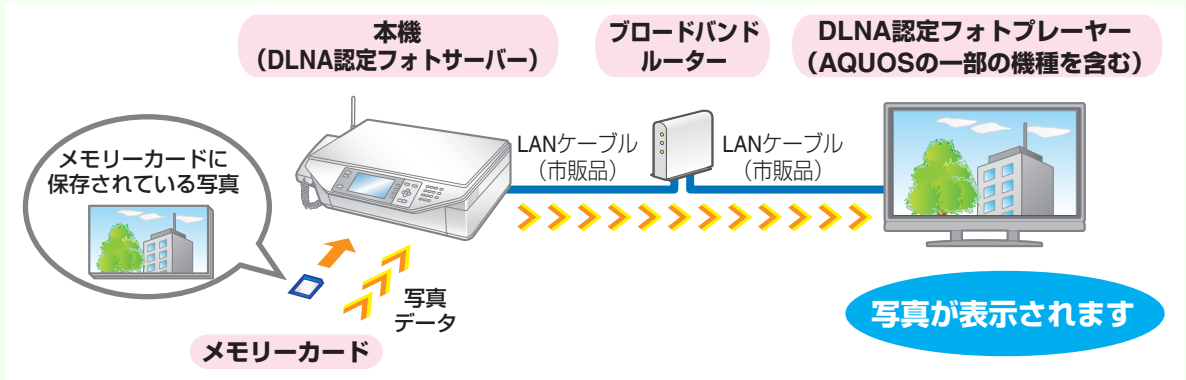
■1つ前に戻るときは

 (戻る) を押します。

■プリント機能を使用しないときは

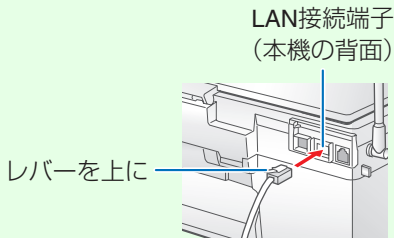
上記の手順4で「使用しない」を選びます。

DLNA認定フォトプレーヤーで メモリーカードの写真を表示する



1 DLNA認定フォトプレーヤー、ブロードバンドルーターと接続する

(接続例 4ページ)



・お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。

2 「フォトサーバー機能を使う前に」(5ページ) の設定をする

3 写真データが入ったメモリーカードを本機のメモリーカードスロットに挿入する

(取扱説明書 142ページ)

・本機で画像のリスト(コンテンツリスト※)が作成されます。「ホームネットワーク コンテンツ設定中」の表示が消えるまでお待ちください。

4 接続したDLNA認定フォトプレーヤーの操作で、接続機器の中から本機を選ぶ

・接続が始まります。
 ・接続が完了すると、DLNA認定フォトプレーヤーに写真のリストが表示されます。
 ・写真を見るための操作手順は、接続したDLNA認定フォトプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

■ メモリーカードについて

この機能では、以下のタイプのメモリーカード(3.3V用)を推奨しています(USBメモリーは使用できません)。

SDメモリーカード/miniSDカード※：最大2GBまで
 microSDカード※：最大512MBまで
 マルチメディアカード：最大2GBまで
 ※本機との接続には、それぞれのカードに付属しているアダプタ、または市販のカードアダプタが必要です。

- SDメモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSDTMはSDアソシエーションの商標です。
- microSDTMはSDアソシエーションの商標です。
- マルチメディアカード(MultiMediaCard)は独 Infineon Technologies AG社の登録商標です。

※ コンテンツリストとは

メモリーカードの写真データを読み取って、本機で作成される画像のリストのことです。

メモリーカードを本機のメモリーカードスロットに挿入すると、「ホームネットワーク コンテンツ設定中。メモリーカードを抜かないでください。」と表示され、コンテンツリストが作成されます。

DLNA認定フォトプレーヤーでメモリーカードの写真を表示する

■ DLNA認定フォトプレーヤーに対して提供できるデータ

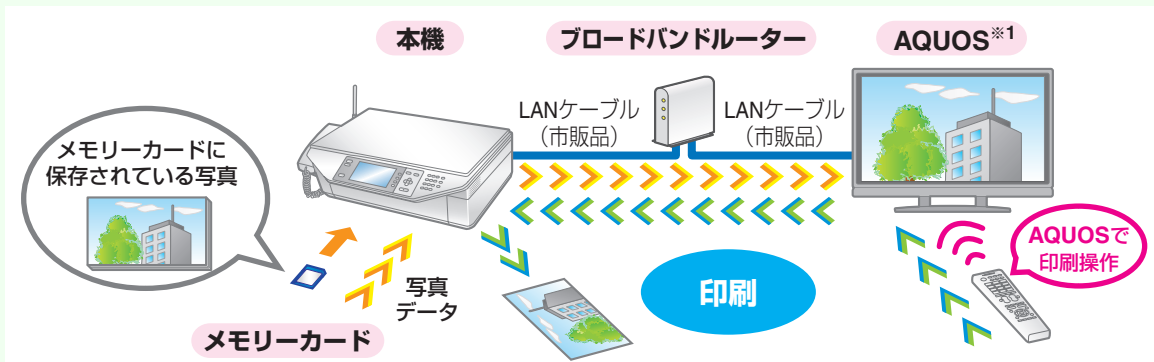
- ・ **対応データ形式：** JPEG
(拡張子の最初の3文字がJPGまたはJPE)
- ・ **最大ファイルサイズ：** 6MB
- ・ **画像サイズ：** 最大4096ドット×4096ドット
(どちらか一方でも超えていれば、表示されないことがあります)
- ・ **データの保存先：** DCIMまたはPRIVATE
(ただし、PRIVATE≠MIRAKURU≠TEMPを除く)
- ・ **写真データの数：** 最大999個
(ただし、JPEGファイル以外のファイルも含む)

お知らせ

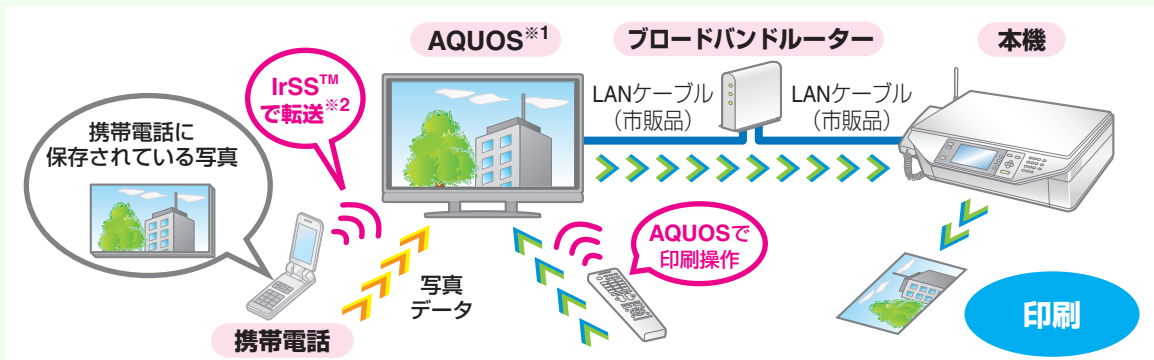
- コンテンツリストの作成には、写真データ100個で6~7秒程度の時間がかかります。ただし、パソコンで加工した画像など、サムネイル画像がないものは、1個あたり15秒程度余分に時間がかかります。
- DLNA 認定フォトプレーヤーによって対応している最大ファイルサイズや画像サイズが異なる場合があります。詳しくはDLNA認定フォトプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンソフトで加工した画像など、データによっては、表示できないことがあります。
- メモリーカードを本機から取り外すと、DLNA サーバー機能がいったん停止するため、DLNA認定フォトプレーヤーから接続できなくなることがあります。
- コンテンツ設定中に本機の停止ボタンを押すと、コンテンツ設定を中止することができます。コンテンツ設定動作を中止させると、DLNA認定フォトプレーヤーで写真が見られないことがありますので、メモリーカードを抜き差しして再度コンテンツ設定動作を実行させてください。
- コンテンツ設定中に本機の他の機能を起動すると、コンテンツ設定を中断し、他の機能が終了した後で設定を再開します。
- 2台以上のDLNA 認定フォトプレーヤーを同時に接続することはできません。
- 本機のフォトサーバー機能は、下記の機能が実行されると動作を中断しますので、DLNA認定フォトプレーヤーを操作しても画像は表示されません。
フォトプリント、コピー、ファクス、スキャン、
ケータイリンク、電話(内線通話を含む)、回線識別中、
電話帳、再ダイヤル、着信記録、操作ガイド、
登録メニュー、赤外線通信、留守設定、留守設定解除、
留守録再生中、音量設定中、電子ファイル、
プリンタメンテナンス中、
電源投入時の携帯とくたくダイヤル設定画面表示中、
その他のポップアップ表示時

また、フォトサーバー機能で使用する内部の作業メモリーが不足すると、本機はフォトサーバー機能の停止、再起動およびコンテンツ設定を自動的に行います。この間は一時的にフォトサーバー機能が停止しますので、AQUOSでスライドショーなどを行う場合は、コンテンツ設定完了後に実行してください。

メモリーカードの写真を表示して印刷する



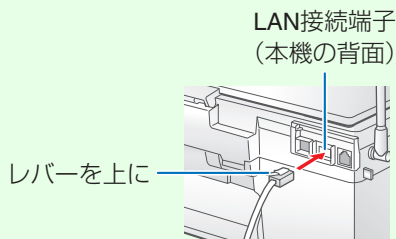
携帯電話の写真を表示して印刷する



※1 お使いのAQUOSが本機と接続できるかは、AQUOSの取扱説明書などでご確認ください（AQUOSでは「ホームネットワーク」などという名称を使っています）。

※2 IrSS™とは、IrSimple 1.0 準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）を表します。

1 AQUOSと接続する（接続例 4ページ）



・ お使いの接続機器の取扱説明書もご覧ください。

2 プリント用紙をセットする
(取扱説明書 42、43ページ)

3 「フォトサーバー機能を使う前に」(5～7ページ)の設定をする

4 写真をAQUOSで表示する

メモリーカードの写真を表示する場合：

メモリーカードを本機のメモリーカードスロットに挿入（取扱説明書 142ページ）して、AQUOSの入力切替でホームネットワークを選んで写真を表示します。

携帯電話の写真を表示する場合：

AQUOSの入力切替でIrSS™を選んで、携帯電話からAQUOSにIrSS™で写真を送信します。

・ 操作手順については、AQUOSの取扱説明書をご覧ください。

5 AQUOSの操作で、写真を印刷する

・ 操作手順については、AQUOSの取扱説明書をご覧ください。

■ メモリーカードについて (8ページ)

■ 印刷について

- ・ 印刷中に写真のリストを何度も表示すると、印刷結果がかすれることや、プリンタエラーが発生することがあります。
- ・ 印刷中は別の写真を印刷することはできません。別の写真の印刷をする場合は、印刷が終わってから実行してください。
- ・ 本機での印刷中にAQUOSでチャンネル切換や入力切換を行うと、印刷が正しく完了しないことがあります。また、印刷中のエラーは本機に表示されますが、AQUOSの画面には表示されることがあります。
- ・ インク残量が少ないまま印刷を行うと、かすれなどが発生しやすくなりますので、「インクが残り少なくなりました」などのメッセージが表示されたら、早めにインクカートリッジの交換を行ってください。

■ 印刷できるデータ

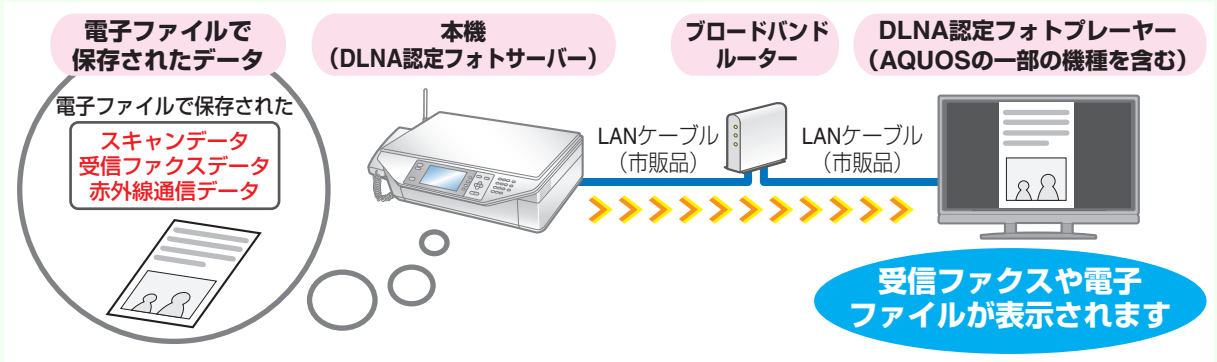
- ・ **対応データ形式：** JPEGファイル
(ただし、一部印刷できないものがあります)
- ・ **最大ファイルサイズ：** 5MB
- ・ **画像ドット数：**
長辺 最大4096ドット 短辺 最大3072ドット
(どちらか一方でも超えていれば、印刷できません)
- ・ **印刷可能枚数：** 1枚
- ・ **フチあり印刷：** 可能
- ・ **フチなし印刷：** 次の条件で可能
 - ① 用紙種別が「フォト用紙」のとき
 - ② 用紙種別が「普通紙」または「コート紙」で、用紙サイズが「はがき」のとき
- ・ **用紙種別：**
普通紙／コート紙／フォト用紙
- ・ **用紙サイズ：** L判／2L／A4／はがき

お知らせ

- プリント用紙は、「用紙種別」「用紙サイズ」の設定と同じ用紙をセットしてください。設定と合っていない場合、紙詰まりの原因になります。
- 印刷中は、フォトサーバー機能の反応が遅くなるため、スライドショーなどの動作が遅くなったり、印刷設定画面などが表示されるまでに時間がかかったりします。
- IrSS™は、Infrared Data Association® の商標です。

受信ファクスや電子ファイルの内容をDLNA認定フォトプレーヤーで見る

サーバー機能を「使用する」に設定している場合、本機の電子ファイル機能で保存したデータをDLNA認定フォトプレーヤーで見ることができます（電子ファイル機能について、詳しくは取扱説明書をご覧ください）。



電子ファイル機能で保存したデータは、下記のフォルダから見るができます。（保存したデータが無い場合は表示されません）

- スキャナで読み込んだデータ : 電子ファイル（スキャナから）
- 受信したファクスのデータ : 電子ファイル（受信FAXから）
- 赤外線通信で受信した画像データ : 電子ファイル（赤外線通信から）

ファクスを受信した場合、自動的に電子ファイルの受信ファクスデータとして保存されます。受信ファクスを電子ファイルに保存しないようにするには、次の手順で設定してください。

- 1 (登録/機能) を押し、
 で「パソコン関連設定」を選ぶ
- 2 を押し、
 で「ホームネットワーク機能」を選ぶ
- 3 を押し、
 で「サーバー機能」を選ぶ
- 4 を押し、
 で「受信FAXの電子ファイル保存」を選ぶ
- 5 を押し、
 で「受信後自動保存しない」を選ぶ
- 6 を押し
- 7 を押し

■途中でやめるときは

停止 を押します。

■1つ前に戻るときは

(戻る) を押します。

■受信ファクスを電子ファイルに自動で保存するには

左記の手順5で「受信後自動保存する」を選びます。

🔔お知らせ

- サーバー機能を「使用する」に設定している場合、電子ファイル機能でデータを保存した後にフォトサーバー機能のコンテンツ設定が実行されます。
- 受信ファクスの電子ファイル保存を「受信後自動保存する」に設定し、FAX/録音メモリー選択が「外部メモリー」に設定されている場合は、ファクスを受信した後に電子ファイル機能によるデータの保存とフォトサーバー機能のコンテンツ設定が実行されます。
- スキャンするときの画質や受信したファクスの画質によっては、DLNA認定フォトプレーヤーで表示できる画像サイズを超える場合があるため、表示できない場合や解像度の低い画像が表示される場合があります。

シャープ株式会社